

2015-2-20

平成 27 年 2 月度第 2 回わが街つくる会定例会（通算 194 回）議事録

日時：2015-2-19（木）19：30～21：00

場所：平野市民センター会議室

出席者：橋本、雨宮、倉橋、堀井、岡本、森川、竹吉、乾 以上 8 名

議事内容：（司会：今回担当の戸所氏欠席のため橋本会長が代行）

1. 平野再発見で取り上げてみたいテーマについて（橋本）
探偵団では、今後の特集内容について種々議論されているが、わが街としても考えてみたいとして意見交換した。以下に発言内容を示す。
 - ・冊子発行も 10 回を数えた。住民の意見を聞いてみるのもよい。
 - ・PTA の会合があるので意見を聞いてみる。
 - ・小学校の副読本作成をイメージしていることから、教育委員会や校長の意見を聞いてみるのもよい。
 - ・具体的なテーマ候補としては、東海道自然歩道、平野の山々、平野の樹木、平野の公園、平野の生き物（チョウ、昆虫等）、平野の魚、平野の方言、平野の有名人等。
2. わが街の会員勧誘について（橋本）
会員数がなかなか増えない。どうしたらよいか意見交換した。
 - ・会議の時間帯から、若い人は参加しにくい。子育てを終えた層を狙う。
 - ・探偵団メンバーの中から個別勧誘する。
 - ・わが街の今後の活動を上手く PR して行く。例えば、膳所駅橋上化、市民センター新築などと絡めて、参加型の活動を推進して行く。
3. 平野八景について（雨宮）
現時点で応募件数は 1 件のみ。わが街の会員には呼び水となるよう応募をお願いする。また周囲への声かけもお願いしたい。締め切りは 3 月 25 日、応募作品の掲示は 4 月 20 日頃からの予定である。
4. 駅前花壇について（竹吉）
駅前広場の工事が 7 月頃より開始される。これに伴い花壇も撤去工事に入るため、3 月末をもって花壇の活動は停止する。（中央花壇のみ）
5. 男の料理（岡本）
本日の紹介は“ふろふき大根”。1 年で一番寒いこの時期大根がうまい。大根は自己防衛本能から糖分を出す。これが甘さの源。料理法は昆布だしで煮て、みそをかけて食べるだけの至ってシンプルなもの。ふろふき大根は“風呂吹き大根”と書き、その名前の由来は諸説がある。

面白いので紹介してみる。

その1)「風呂吹き」は、冷ましながら食べる仕草に由来するというもの。

昔の風呂は蒸し風呂で、熱くなった体に息を吹きかけ垢をこすり取る職業があった。この者は風呂吹きと呼ばれた。この様が料理を食べる時の様と似ていることから来たと云うもの。

その2) 大根は体にも良く、安くて経済的なため「不老富貴」とした説。

その3) ある僧から「大根のゆで汁を漆貯蔵室の風呂に吹き込むと、うるしの乾きが早くなる」と聞いた漆職人が試してみると大変効果あった。余りの茹で大根は近所に配り好評を博したとの話に由来するとの説。

但し、元々この料理はカブで作られており、単に「風呂吹き」と呼ばれていた。カブを大根に変えたものが「風呂吹き大根」なので、上記その2)、その3)の説は考えられない。

<作り方>

大根は厚さ4cm程に切って皮をむき面取りする。米のとぎ汁と一緒に下ゆでする。鍋の底に昆布を敷き、その上に大根を置いてたっぷりの水で竹串がやっと通る硬さになるまで煮る。煮えたら皿に盛り、砂糖味噌や柚子味噌などを載せて食べる。

6. 次回定例会の開催について

3月5日(木) 19:30～、於) 平野市民センター

以上(乾)